桑名市人口ビジョン(仮称)中間案に係るパブリックコメント実施結果

件数	ご意見		市の考え方
1	I (6) P8	2001-2003年の社会減 社会減の分析は、何があったのか。	2000年まで続いた住宅開発が一段落し、転入者の数が転出者の数に比して減ったためと推測します。
2	III 2 P27	平日の昼間帯在人口を増やす事がどうして必要なのか。	今後、さらなる増加が期待される訪日外国人旅行者をはじめ、国内外のインバウンドによる交流人口の増加は、桑名での購買や宿泊の効果による地域産業の活性化や雇用創出につながると考えています。 また、桑名の魅力が市内外から認められ、都市イメージが向上することで、定住人口増加につながっていくと考えています。 よって、昼間の交流人口増加の対策が必要であると考えております。
3	III 2 P27	「駅周辺の用途地域の緩和や中心市街地の高度利用」が述べられているが、桑名の都市計画上での市民の議論が必要ではないか。	今後の人口減少・超高齢社会に対応する集約型都市構造の実現を目指す上で、中心市街地である駅周辺部において、人口の増加・密度の確保を図ることが必要と考えるところであり、これらを実施していくにあたり、地域の皆さまとの懇話会の設置など検討してまいりたいと考えます。
4	III 2 P27	どうして、ここから長期的政策と短期的施策を合わせて推進する必要性が出てくるのか理解できない。	戦略における「長期的に続けることで効果が緩やかに表れる政策(=「暮らす」)」と、「短期施策のくりかえしによる実績で効果が表れる施策(=「インバウンド」)」については、別々の施策のようではありますが、「暮らす」の施策は、子育て、学び、労働など日々の生活、活動をするうえでの、心地よさ、快適さを向上させることで、訪れたいまちとして「インバウンド」の施策へとつながっていきます。また、「インバウンド」の施策は、まずは、桑名市外からの誘客、交流人口に対する施策として捉えますが、将来的には地域の仕事を創造し、ひいては、外国人を含めた桑名市における「暮らす」の施策へとつながっていきます。 よって、2つの施策を組み合わせることによる相乗効果が期待できると考えております。
5	IV P28	おわりに 「人口ビジョン」としては不必要だと思う。	桑名市人口ビジョン(仮称)中間案から削除し、桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略(仮称)中間案に記載することを検討します。